

トミカ 峠やまみちドライブ 修理のポイント

(タカラトミー)



図-1



図-2

図-1のような状態で持ち込まれることが多いが、実は図-2のように組み込まれた5~6,000円のおもちゃである。ひれ状のコンベアベルトが動いてトミカを運び上げるメカであるが、3種類使われているピニオンギヤのどれかが割れている故障が多い。高速道路にぎやかドライブ（これも修理依頼が多い）と組み合わせて遊ぶこともできる。

分解・修理方法・・・電池OK、回してみても状況を見る・・・コンベアベルトの両方または片側が動かない場合

1. 緑色部分の5本のビスを外し裏表に割ると灰色のコンベア部と分け、黄色の駆動ユニットが取り外せる。

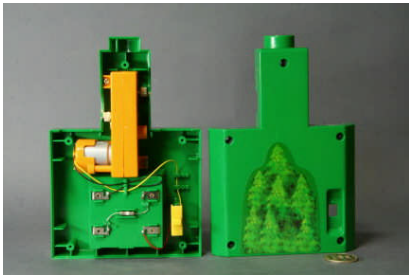


図-3

右と左側にコンベアベルト駆動用のピニオンギヤ（外径7φ弱 10T）が見える。これが割れているケースが多い。

（回転させギヤを押さえると空転する場合→ピニオン割れ）

→ピニオンを交換する

→電源が行かない場合、電池Box裏のヒューズ抵抗も要チェック

2. 回転させモーターは回るが、上のピニオンは回転しない →モーター軸ピニオン（5φ 10T）割れと判断

モーターカバーを外してモーターを抜いてみる（減速Box内に割れピニオンが落下している場合もある）

→空転するようであれば、ピニオン割れと判断、交換する（モーターはFA-260）

3. 1)、2)のピニオンOKでも上側のベルトだけ動かない →上側コンベアにだけ付いている長い駆動軸の

ピニオン（7φ 12T）不良と判断、上側コンベア部の分解を行う

灰色部分の5本のビスを外す。

←（茶色の柱の中にも1本ビスがある）

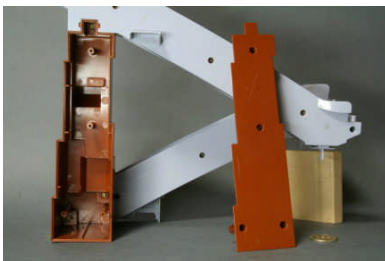


図-4

（中のL型のカバーを外すと長さ約26cmの棒の両端にピニオンが付いたものが出る）



図-5

図-6



帽子のようなブッシュをなくさない

ハトメ状のブッシュをガイドにはめる

どちらのピニオンが割れているのか判断して、交換する

4. 元どおりに組み上げ 試運転する

※ 図-6のようにハトメ状のブッシュをガイドにきちんとはめる

※ 図-6の帽子のようなブッシュをなくさない

※ 組み付け時、ベルトの方向に注意！